

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【公表番号】特表2017-531726(P2017-531726A)

【公表日】平成29年10月26日(2017.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2017-041

【出願番号】特願2017-521508(P2017-521508)

【国際特許分類】

C 0 8 L 71/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 71/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年9月26日(2018.9.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) ポリ(エーテルエーテルケトン)(PEEK)、ポリ(エーテルケトン)(PEK)又はポリ(エーテルケトンエーテルケトンケトン)(PEKEKK)から選択されるポリマーと、b) ポリ(エーテルケトンケトン)(PEKK)とを含む組成物であって、ポリ(エーテルケトンケトン)(PEKK)がテレフタル酸単位とイソフタル酸単位の混合物を含み、テレフタル酸単位の重量パーセントが、テレフタル酸単位とイソフタル酸単位との合計に対して 55 から 85 % の間(境界値を含む)であることを特徴とし、組成物の総重量に対して 1 から 40 % の間(境界値を含む)の重量 % の PEEK を含む組成物。

【請求項 2】

組成物が複数の PEEK からなるブレンドを含むことを特徴とし、各 PEEK が、テレフタル酸単位とイソフタル酸単位との合計に対して 55 から 85 % の間(境界値を含む)の重量パーセントのテレフタル酸単位を示す、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

少なくとも一の添加剤を含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

組成物中の PEEK の重量割合が、組成物の総重量に対して 60 から 99 % の間(境界値を含む)であることを特徴とする、請求項 1、2 及び 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

ポリ(エーテルエーテルケトン)(PEEK)、ポリ(エーテルケトン)(PEK)又はポリ(エーテルケトンエーテルケトンケトン)(PEKEKK)から選択されるポリマーを含む組成物の降伏点及び/又は破断点伸びを改善するための方法であって、前記組成物中にポリ(エーテルケトンケトン)(PEKK)を配合することから成る方法であり、PEKK がテレフタル酸単位とイソフタル酸単位の混合物を含み、テレフタル酸単位の重量パーセントが、テレフタル酸単位とイソフタル酸単位との合計に対して 55 から 85 % の間(境界値を含む)であることと、PEKK が組成物の総重量に対して 1 から 40 % の間(境界値を含む)の割合で組成物中に配合されることを特徴とする方法。

【請求項 6】

レーザー焼結により、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物から生産される物

体。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

60 から 98 の間の重量 % の半結晶性 P A E K 及び 40 から 2 の間の重量 % の非晶質 P A E K を含むポリマー アロイ が米国特許第 5342664 号より知られている。そのような アロイ は、半結晶性 P A E K 単独の場合と比較して、より高い破断点伸び及び低下した粘度を示す。しかしながら、この文献は、部品の変形の問題を生じさせる結晶化の速度に関して言及しておらず、過度に急速な結晶化の反応速度の結果として部品に現われる内部応力を除外するために、長期的且つ費用のかかるアニーリング後の段階を必要とする。アロイ の降伏点についての言及はない。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

総説 POLYMER, 1988, Vol. 29, June, pp. 1017 - 1020 に見られる「Blends of two P A E K」と題する論文は、共に素早く結晶化するという際立った特徴を有する P A E K 類の二つのポリマーである P E E K と P E K とに基づく アロイ の調製を記載している。この論文は、アロイ の二つの化合物の結晶化及びそれらの性質について研究している。一方で、この論文は、結晶化の速度及び内部応力の出現と得られた部品の変形への影響、並びに アロイ の機械的特性を研究していない。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

Journal of the American Chemical Society, 1997, 30, pp. 4544 - 4550 の「Dynamic study of crystallization and melting-induced phase separation in P E E K / P E K K blends」と題する論文は、P E E K と P E K K との アロイ を記載しており、イソフタル酸単位 (I) に対するテレフタル酸単位 (T) の T / I 比率は 30 / 70 である。この論文は、50 / 50 に等しい重量割合で P E E K 中 30 / 70 P E K K の取り入れを明示し、アロイ の二つの化合物の相互拡散の結果として、P E E K の結晶化を遅らせることを可能にする。この書類は、そのような アロイ の機械的特性を研究していない。